

# 平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

## 稲敷市 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	本新島干拓は、1945年(昭和20年)の工事着工から、11年かけて作られた572ヘクタールもの広大な干拓地です。当時入植したのは、県外の人々が多数でした。	3
2	新利根小学校の校歌は、作詞は東海林良さん、作曲は千住明さんです。毎年、東海林良さんの企画で、市内小学生向けに、「人間コンサート」を開催していただいています。	4
3	松本楓湖さんは狩野派の画風を習得し、歴史画家として著名です。美術教育者としても活躍し、門下生は約300人とも言われます。代表作は「蒙古襲来図屏風」「和装西洋婦人像」。	1
4	稲敷の広々とした土地を利用し、江戸崎カントリークラブを始め、9か所のゴルフ場があります。県内外から毎日たくさんのゴルファーが訪れ、プレーを楽しんでいます。	2
5	「あんぺら」とはあんぺら草で編んだ袋に入れて黒砂糖が運ばれたことから、「ぽん」とは竹筒の底に錐(きり)で穴を開けすすって食べた際にぽんっと音が鳴ることから「あんぺらぽん」と名づけられました。	4
6	稲敷市内の圏央道12キロメートルには、稲敷インターチェンジと稲敷東インターチェンジがあり、主要都市へのアクセスと流通が最適化されています。	2
7	近隣の14名の名主達は、南朝方に味方をしました。しかし、北朝方の攻撃により神宮寺城・阿波崎城が落城したため、13名の名主が斬首の刑に処されました。南北朝末期の1381年(弘和元年)、椎塚にある時宗の善吉寺の住職が願主となり供養が営まれました。今では十三塚と呼ばれ、稲敷市指定文化財にされています。	3
8	伊勢屋宇兵衛がかけた最初の橋は瑞祥院のひょうたん池にあり、今も残っています。それから江戸に向かう道筋に100あまりの橋をかけたといわれています。	1
9	「いきいきトランポリン」は、2019年6月30日(日)に開催される、競技用のトランポリンを使用した体験会です。年齢や障害の有無に関係なく楽しめる生涯スポーツです。会場は、正式競技の会場となっている江戸崎総合運動公園体育館です。正式競技は、2019年9月8日(日)に開催されます。	2
10	阿弥陀寺の「花まつり」は毎年6月8日に行われる祭りで、「腰巻おがみ」の名で広く知られています。祭りの日に、持参した腰巻や下着などに朱印を押し仏前に供えて無病息災を祈願してもらい、これを着用すると清潔な姿で往生できると言われており、江戸時代初期から現在まで続けられています。	4
11	国指定の重要文化財である「横利根閘門」は、水位差がある利根川と横利根川とを船舶で航行できるようにするための施設です。完成から100余年を経た現在も、釣り船やブレイザーボートなどがこの閘門を利用しており、扉の開閉や水位調整のしくみを見ることができます。	2
12	稲敷市の総面積のうち、39パーセントが田です。稲敷市は、豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれた水と緑にあふれた田園都市です。	4
13	「稲敷たから音頭」は、稲敷市合併5周年を記念して作られ、4番まで歌詞があります。春夏秋冬の稲敷を歌っており、春は桜、夏は花火、秋は稲、冬は鳥などを宝として歌っています。	3
14	稲敷市は、圏央道の完成で主要都市へのアクセスと流通が最適化していることから筑波東部工業団地を含め、市内への工場の誘致を積極的に進めています。	1
15	小泉 軍治(こいずみ ぐんじ)は、1885年(明治18年)駒塚村(現在の稲敷市の一部)に生まれました。柔道をイギリスに紹介し、「イギリス柔道の父」と称された日本の柔道家です。また、イギリス柔道連盟の設立を助け、ヨーロッパ柔道連盟を創設しました。	3
16	「逢善寺(ほうぜんじ)と森」は、県民投票で茨城観光百選に選ばれました。	2
17	あんば囃子は、大杉囃子とも呼ばれます。疱瘡(ほうそう)、天然痘(てんねんとう)等の疫病流行の兆しがあると、神社から天狗の面を借り出し、村内を鳴り物入りで囃し回ったのが原型となり、生まれたとされます。	4
18	「稲妻雷五郎」は第7代横綱です。常陸国河内郡阿波崎(あばさき)村(現在の稲敷市)出身です。入幕から42歳の引退まで16年間負け越しは1回のみ、勝率90.9パーセントでした。	1
19	茨城ゴールデンゴールズは、2005年(平成17年)に創設され全日本クラブ野球選手権大会では、平成29年度までに3回の優勝を飾っています。片岡安祐美さんが、監督を務める茨城ゴールデンゴールズの本拠地は、桜川総合運動公園にあります。また、茨城ゴールデンゴールズの選手は、稲敷市のふるさと大使に任命されており、市のPR活動でも活躍しております。	3
20	和田公園の「稲敷チューリップまつり」は、チューリップの見頃の時期(4月)に開催します。30種類、20万本ものチューリップが咲き、当日は、郷土芸能・歌謡ショー等のステージイベントの他、地元特産品等の模擬店が出店されます。	2
21	寄棟造りの茅葺き屋根が特徴の「平井家住宅」は、建築された年代は不明ですが、建築の構造が古いことや、平井家先祖の記録、新利根川が開削された時代背景などから、江戸時代の寛文年間(1661年～)には建てられたと考えられています。関東地方では屈指の古さの民家といえることから、1976年(昭和51年)国から重要文化財の指定を受けました。	4
22	江戸崎南瓜部会は1970年(昭和45年)に結成され、その後江戸崎南瓜は1982年(昭和57年)に銘柄産地の指定を受けました。徹底した商品づくりや安全・安心にこだわった生産管理を実施し日々おいしいかぼちゃ作りに尽力しています。畑で完熟を待ってから収穫するので、甘さも栄養価も抜群です。	1
23	「ライスミルクプリン」は、筑波大学農産食品加工研究室の、北村 豊教授が玄米の要素を生かして、独自の製法で開発した生ライスミルクを使用し作られています。玄米が持つ栄養素を手軽にとることが出来るスイーツです。	2
24	花火大会は、62年前(約60年前)の1956年(昭和31年)に始まりました。夜のメインを飾る「花火大会」は県内でも最大級の打ち上げ数で、観客の皆さんを魅了しています。	3
25	毎年11月になると、ロシアのカムチャッカ半島からはるばるやってきます。関東地方では唯一のオオヒシクイの飛来地であることから、県外からも大勢の見物客がバードウォッチングに訪れます。	4